

# 幼 児 の 教 育

昭 和 十 年 十 月

## 子 ぎ も の 目

いつも真正面から、真直ぐに相手を見る目。いつもあからさまに自分をさらけ出して、心の隅まで隠すところのない目。

いつも一ぱいに見開いて、しつかり事物そのものを見詰める目。いつも新鮮さに冴えて興味の上に輝く目。

いつも柔いなつかし味に湛えてゐる目。人の心の明るさを受けて明るく、自らも亦容易に、相手の心の中に溶けてゆかうとする目。

それよりも尙、なんさいふ清さに澄んでゐるこころ。曇りもなく、濁りもなく、たさへば此頃の澄んだ空の清さを、そのまゝ人界に落し來つたやうな目。

それが、子ぎもの目である。